

重要取組シート

建設局 道路部 道路計画課

取組項目		都市計画道路の整備
現状・課題		【現状】 本市の都市計画道路の計画総延長は約 275.9km である。整備状況については、令和 5 年度末現在、整備済路線延長が約 204.1 km、整備率が約 74.0%、事業中路線延長が約 14.7 km となっている。また、未整備区間については、堺市都市計画道路整備プログラム（平成 28 年 6 月策定）により、優先整備の考え方や事業着手時期を示している。 【課題】 ○未整備区間（ミッシングリンク）が残っているため、整備済みの路線に期待される通行・空間機能が十分に発揮されず、ミッシングリンクの早期整備が必要である。 ○都市計画道路事業は、土地の境界確定や用地取得など時間を要する事業であり、限りある財源のもと、早期の効果発現を図るため効果的かつ効率的に事業を進める必要がある。
取組の内容		事業中路線については、工事着手できるよう用地買収や設計業務に取り組む中で、ある一定の用地取得が完了した箇所から早期の効果発現に有効な道路築造工事を進める。また、最新の交通量データを踏まえた将来交通量予測結果を分析し、堺市都市計画道路整備プログラムの精査を行う。 【事業中路線】 南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）、大阪河内長野線（八下地区）、出島百舌鳥線、草尾南野田線、大阪和泉南線、常磐浜寺線、大阪河内長野線（北野田地区）、錦浜寺南町線、諏訪森神野線（浜寺・浜寺東地区） など
スケジュール	前期 （～7 月）	□ 事業中路線の用地買収の推進（4 月～令和 7 年 3 月） （南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区）、大阪河内長野線（八下地区）、大阪河内長野線（北野田地区）、出島百舌鳥線など） □ 道路築造工事に向けた関係機関協議の継続実施（大阪河内長野線（八下地区）） □ 用地測量業務の継続実施（大阪河内長野線（北野田地区）） □ 道路築造工事（工事用進入路整備）の着手及び電線共同溝詳細設計業務の継続実施（草尾南野田線） □ 橋梁予備設計業務の継続実施（錦浜寺南町線） □ 将来交通量予測結果の分析
	中期 （～11 月）	□ 道路築造工事の発注（南花田鳳西町線（金岡・白鷺地区））
	後期 （～3 月）	□ 道路築造工事（駅前歩道整備）の発注（出島百舌鳥線） □ 将来交通量予測結果の分析を踏まえた整備プログラムの精査
	次年度以降	□ 大阪河内長野線（八下地区）、草尾南野田線の事業完了 □ 堺市都市計画道路整備プログラムの更新

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 事業中路線の用地買収の推進(4月～) ☐ 道路築造工事に向けた関係機関協議の継続実施(大阪河内長野線(八下地区))(4月～) ☐ 用地測量業務の継続実施(大阪河内長野線(北野田地区))(4月～) ☐ 道路築造工事(工事用進入路整備)の着手及び電線共同溝詳細設計業務の継続実施(草尾南野田線)(4月～) ☐ 橋梁予備設計業務の継続実施(錦浜寺南町線)(4月～) ☐ 将来交通量予測結果の分析(4月～)		
	中期 (～11月)	☐ 道路築造工事の着手(南花田鳳西町線(金岡・白鷺地区))(11月)		
	後期 (～3月)	☐ 道路築造工事(駅前歩道整備)の着手(出島百舌鳥線) ☐ 将来交通量予測結果の分析を踏まえた整備プログラムの精査		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —

重要取組シート

建設局 道路部 連続立体推進課

取組項目		連続立体交差事業の推進（南海本線）
現状・課題		【現状】 - 事業期間：平成 18 年度～令和 9 年度 - 全体事業費：約 423 億円 （残事業費約 157 億円） （うち市費 175 億円、残市費 69 億円） - 用地取得状況：R6.3 月末現在で 約 99%（事業区域内は残 1 件） 【課題】 - 効率的な鉄道工事の推進、事業費の平準化 - 長期にわたる事業、本格的な高架工事に伴う沿道住民、地元関係者との調整、対応 - 阪堺線移設に伴う跡地活用検討、調整、側道の都市計画変更 - 事業計画の認可変更（事業期間、全体事業費）
取組の内容		- 鉄道事業者と連携し、事業進捗管理を行う。 - 仮線工事、一部区間の高架工事の推進。 - 鉄道事業者と連携し、地域住民への丁寧な周知・説明。 - 阪堺線跡地活用に関する関係者との継続した意見交換。 - 側道の都市計画変更（案）について、説明会等を実施し地元の理解を得たうえで、都市計画変更手続を実施。 - 事業計画の認可変更に関する国との協議や手続きの実施。
スケジュール	前期 （～7 月）	☐ 関係機関協議、地元説明（4～3 月） ☐ 鉄道仮線工事（南海施工：4～3 月） ☐ 鉄道高架工事（南海施工：4～3 月） ☐ 阪堺線移設準備工事（阪堺施工：4～3 月） ☐ 側道都市計画変更 地元説明会（4 月） ☐ 鉄道仮上り線運行切替（高石接続部：7 月）
	中期 （～11 月）	☐ 鉄道仮下り線運行切替（諏訪ノ森駅付近：11 月） ☐ 側道都市計画変更 都市計画審議会（11 月）
	後期 （～3 月）	☐ 事業再評価 公共事業評価監視委員会（12～1 月） ☐ 事業計画変更認可申請（3 月）
	次年度以降	☐ 鉄道工事（仮線、高架、阪堺線移設） ☐ 鉄道事業者との用地交換処理 ☐ 事業計画変更認可の取得

進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 関係機関協議、地元説明 (4月～) ☐ 鉄道仮線工事 (南海施工：4月～) ☐ 鉄道高架工事 (南海施工：4月～) ☐ 阪堺線移設準備工事(阪堺施工：4月～) ☐ 側道都市計画変更 地元説明会(4月) ☐ 鉄道仮上り線運行切替(高石接続部：7月)		
	中期 (～11月)	☐ 鉄道仮下り線運行切替(諏訪ノ森駅付近：11月) ☐ 側道都市計画変更 都市計画審議会(11月)		
	後期 (～3月)	☐ 事業再評価 公共事業評価監視委員会(1月) ☐ 事業計画変更認可申請(3月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5- (2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築		
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 11	住み続けられるまちづくりを	
	寄与する KPI	—		目標値(2025年度) —

重要取組シート

建設局 道路部 連続立体推進課

取組項目		連続立体交差事業の推進（南海高野線）	
現状・課題		【現状】 - 事業期間：令和 4 年度～令和 19 年度 - 全体事業費：約 565 億円 (うち市費約 230 億円を予定) - 事業に必要となる用地の権利者数：約 500 人 【課題】 - 効率的な鉄道工事の推進と事業費の平準化 - 事業に必要となる用地の計画的な取得 - 堺東周辺関連計画と整合した都市基盤整備方針検討、調整	
取組の内容		- 鉄道事業者と連携し、事業進捗管理を行う。 - 沿線住民等に対し事業概要を広く周知し、事業用地の権利者等に対して各々の事情に配慮した丁寧な個別説明を行う。 - 堺東周辺関連計画と整合を図った都市基盤整備方針に関する関係部署との意見交換を行う。	
スケジュール	前期 (～7 月)	☐用地交渉 (4～3月) ☐測量、物件調査業務 (4～3月) ☐鉄道事業者との協議 (4～3月)	
	中期 (～11 月)		
	後期 (～3 月)	☐鉄道準備工事着手 (3月)	
	次年度以降	☐事業用地取得 ☐鉄道工事着手	
進捗の状況	前期 (～7 月)	☐用地交渉 (4月～) ☐測量、物件調査業務 (4月～) ☐鉄道事業者との協議 (4月～)	
	中期 (～11 月)		
	後期 (～3 月)	☐用地交渉 (～3月) ☐測量、物件調査業務 (～3月) ☐鉄道事業者との協議 (～3月) ☐鉄道準備工事着手 (2月)	
2025 堺市基本計画	該当する 施策	5ー(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
	寄与する KPI	—	目標値 (2025 年度) —

(様式 4)

未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	住み続けられるまちづくりを	
		11		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度）
				—